

旭田っ子だより

令和3年10月28日(木)

旭田小 学校だより No.7

文責：校長 天野 圭

【運動会・チーム旭田発表会 御協力ありがとうございました。】

運動会・チーム旭田発表会と大きな学校行事が終了いたしました。子どもたちは、力一杯練習に取り組み、当日、自信を持ってしっかりと発表ができたと思います。みんなの前で発表するということは、それなりの緊張感が伴います。緊張することは、とてもよい刺激になり、大切な経験だと思っています。今後も、程よい緊張感を保ちながら、学習活動に取り組んでいきたいと考えております。また、コロナ禍の中での開催にあたり、時間短縮、検温や手指消毒、人数制限等に際しまして、御理解と御協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

10月2日(土) 運動会



10月16日(土) 発表会



【ちょっといい話】

先週木曜日、縦割り班によるふれあいハイキングが行われました。前日に降った雨の影響で、早朝の大川ふるさと公園の芝生は濡れ、気温も5℃という寒い朝でした。またかぜ等で欠席者や体調不良の子どもたちが大変多かったこともあり校内で実施することにしました。

最初に行われた各班対抗「フィールドビンゴゲーム」では、校内の各箇所を巡り、課題を解決しながらビンゴを狙うというチーム力が試される活動内容でした。

校長室での課題は、「旭田小学校のいいところを3つ以上伝える。」という課題でした。子どもたちが話してくれたいところを紹介します。

- ・友達みんながやさしい。・みんな元気で楽しい。・校庭が広い。
- ・あいさつをしっかりとる人が多い。・男女関係なく遊ぶことができる。
- ・学校（教室、校庭）がきれい。・先生方の授業が分かりやすい。
- ・中央階段がなんとなくおもしろくてかっこいい。・明るい人（児童）が多い。
- ・姿勢のいい人がたくさんいる。・先生方がやさしい。
- ・すれ違って（廊下で）あいさつできる。等

これらの内容を、各班の子どもたちが違和感なく堂々と発表してくれるのです。もちろん事前に課題を予想していた子どももいたでしょう。内容も全児童に該当するわけではないでしょう。しかしながら1年生から6年生までのだれもがすぐに発表できる旭田っ子の素晴らしさに驚きと同時に深く感心してしまいました。学校のいいところをすぐに言える児童。それは友達や先生、家族を認めることのできる素直な児童であること。そして子どもたちの素直な成長を促してくださる保護者がいてくださること。さらに、スポーツ少年団活動等、子どもたちを支えてくれる社会教育団体や地域が存在すること。素晴らしいことです。

短い時間でしたが、再度子どもたちの素晴らしさに触れた瞬間でした。

何かよい行いをした後、いつでも、どこでも、だれにでも

「はい。旭田小ですから。」

なんて言えたら最高ですね。



秋の観音沼